

第5期事業年度

(平成20年度)

決算報告書

国立大学法人 帯広畜産大学

平成20年度 決算報告書 (第5期事業年度)

国立大学法人 帯広畜産大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	2,766	2,825	59	(注1)
施設整備費補助金	287	297	10	(注2)
補助金等収入	14	301	287	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	22	22	0	
自己収入	902	914	11	
授業料、入学料及び検定料収入	769	767	△1	(注4)
雑収入	132	146	13	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	729	796	66	(注6)
目的積立金取崩	100	130	30	(注7)
計	4,821	5,286	464	
支出				
業務費	2,892	2,865	△27	
教育研究経費	2,892	2,865	△27	(注8)
一般管理費	875	736	△138	(注9)
施設整備費	309	319	10	(注10)
補助金等	14	284	270	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	729	742	13	(注12)
計	4,821	4,950	128	
収入－支出	0	336	336	

- 支出の教育研究経費及び一般管理費には、前年度からの運営費交付金繰越額のうち使用額283百万円を含んでいます。また、それに対応する収入として運営費交付金に相当額を計上しています。
- 支出の産学連携等研究経費及び寄附金事業費等には、前年度からの繰越額のうち使用額54百万円を含んでいます。また、それに対応する収入として産学連携等研究収入及び寄附金収入等に相当額を計上しています。
- 支出の教育研究経費には、損益計算書上の教育経費、研究経費、教育研究支援経費、教員人件費の全部及び職員人件費の一部を含んでいます。また、支出の一般管理費には、損益計算書上の一般管理費、役員人件費の全部及び職員人件費の一部を含んでいます。

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、退職手当を前年度からの繰越額から支給したため、前年度の繰越額の使用額分が予算額に比して決算額が59百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、20年度補正予算の耐震対策事業が交付され、その一部を支出したため、予算額に比して決算額が10百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、国からの補助金の獲得額が見込額を上回ったため、予算額に比して決算額が287百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、主として受験者数及び在籍学生数が見込数を下回ったため、予算額に比して決算額が1百万円少額となっています。
- (注5) 雑収入については、主として家畜病院の診療体制の強化に努めたこと等により、予算額に比して決算額が13百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階では予定していなかった国等からの受託研究の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が66百万円多額となっています。
- (注7) 目的積立金取崩額については、予算段階では予定していなかった附属家畜病院改修工事資材の高騰により、予算額に比して決算額が30百万円多額となっています。
- (注8) 教育研究経費については、退職手当支給者数の減及び予算段階では予定していなかった任用計画の見直しによる人件費の減少等により、予算額に比して決算額が27百万円少額となっています。
- (注9) 一般管理費については、退職手当支給者数の減及び経費の節減に努めたことによる管理経費の減少等により、予算額に比して決算額が138百万円少額となっています。
- (注10) 施設整備費については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が10百万円多額となっています。
- (注11) 補助金等については、(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が270百万円多額となっています。
- (注12) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注6)に示した理由により、予算額に比して決算額が13百万円多額となっています。